



「もしものとき」は明日かもしれない 問い合わせ 総務課 防災グループ ☎ 27-2481

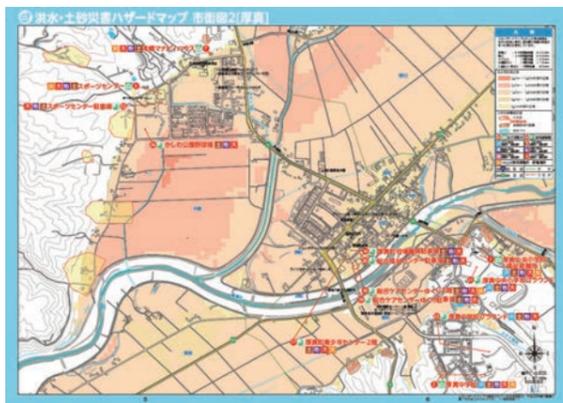
防災のページ

ハザードマップが新しくなります



新しく「厚真町総合防災マップ」を作成しました。北海道による町内すべての土砂災害危険箇所の基礎調査が終了し、新たに土砂災害警戒区域が指定されました。また、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に伴う太平洋沿岸の津波浸水想定が公表され、津波災害警戒区域が指定されました。これを機に、厚真町のハザードマップを全面的に見直しました。

ご自宅の災害種別に応じた危険性や避難場所・避難経路の確認、災害情報の収集、避難のタイミング、自分で行う災害への備えと心構えなどに活用していただき、今後の災害に備えてください。



重要な変更点

新たな災害想定による見直しにより、**指定緊急避難場所と指定避難所が変わっています。**厚真町総合防災マップで、必ず避難できる場所を確認しておきましょう。

例えば…

総合福祉センターは、避難所にはなりません。大規模災害時等に、町民の皆さんへの公的支援を迅速かつ適切に行うため、防災関係機関との災害対応活動拠点として使用します。

厚真町総合防災マップは、自治会に加入する町内すべての世帯へ配布します。自治会の未加入世帯は、役場、総合ケアセンターゆくり、厚南会館で入手可能です。ハザードマップの見方など、質問や問い合わせは、総務課防災グループまでご連絡ください。

「見やすく・わかりやすく」を心がけ、B4版の冊子にまとめました。また、冊子にはポスターサイズの洪水・土砂災害ハザードマップと津波ハザードマップも同封しています。

ご家庭の壁などに貼って、日ごろから防災意識の向上に役立ててください。

掲載している内容

- ・災害時の警戒レベルを用いた避難情報について
- ・避難する際の避難先の検討や心構え
- ・ご家庭での備蓄品や非常持ち出し品など
- ・災害種別ごとの避難場所または避難所
- ・土砂災害の種類や避難行動のポイント
- ・洪水・浸水害時の避難行動のポイント
- ・樽前山の火山災害・降灰（火山灰）の影響
- ・地震災害から身を守るポイント
- ・津波の特性と避難行動のポイント
- ・厚真町の過去の災害
- ・洪水・土砂災害ハザードマップ
- ・津波ハザードマップ
- ・地震のゆれやすさマップ
- ・樽前山の降灰予測図 など

4月から配付を開始しました。

議会

令和4年第1回定例会

令和4年第1回町議会定例会が、3月8日から16日まで9日間の会期で開かれました。審議されたのは、令和4年度各会計予算など議案37件、報告5件、承認1件で、いずれも原案どおり可決・承認されました。また、決議案2件が提出され、原案は可決されました。

承認

◆専決処分の承認 令和3年度厚真町一般会計補正予算（第16号）

令和3年度厚真町一般会計予算は、歳入、歳出にそれぞれ4290万円を追加し、総額は107億5808万9000円となりました。

【追加】農業費：270万円、道路橋りょう費：2500万円、住宅費：1520万円

議案

◆令和4年度厚真町各会計予算

令和4年度厚真町各会計予算の総額は、106億4800万円となりました。前年度当初予算額と比べ、5億6700万円（△5.1%）の減です。

一般会計では、エネルギー地産地消事業、住宅建設費、宅地耐震化推進事業などの減額（△6億5500万円）が主な要因です。

◆令和3年度厚真町一般会計補正予算（第17号）

令和3年度厚真町一般会計補正予算は歳入、歳出それぞれ5億2805万円が減額され、総額で102億3003万9000円になりました。

報告

◆専決処分の報告（平成30年災第62号準用河川ウクル川災害復旧工事請負契約の変更）

令和3年度厚真町一般会計補正予算は歳入、歳出にそれぞれ2730万円を追加し、総額で102億5733万9000円になりました。

【追加】土木費：2730万円

決議

◆厚真町庁舎周辺等整備基本構想・基本計画（素案）に対する決議

◆ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議

行政報告

▼暴風雪による農業被害について

2月21日から22日にかけて、発達した低気圧と強い冬の気圧配置の影響による大雪と暴風により、農業用施設が損壊する被害が発生しました。

ビニールハウスでは、暴風による被覆ビニールの破損、堆積した雪の重みによる倒潰、パイプの変形や歪みが発生し、格納庫や堆肥舎などの農作業関連施設においても、屋根の損壊などの被害が発生しました。

2月25日にかけて、町とJAにより現地被害調査を行うとともに、農事組合に調査を依頼したところ、園芸作物用ビニールハウスの損壊8戸17棟、格納庫などの農作業用施設では16戸18棟、地域の共同利用施設1棟の被害が確認されました。被害額は、総額で2400万円程度と見込んでいます。

▼子ども園で発生した新型コロナウイルス集団感染の状況について

2月24日、体調不良により欠席した3歳以上児1人が医療機関における抗原検査の結果、陽性が確認されました。北海道の基準に従い、発症日の2日前に登園し、当該園児と接触した可能性の高い3歳以上児26人、職員6人にPCR検査を実施。さらに25日、最初にPCR検査を実施。さらに25日、最初に陽性確認された3歳以上児の兄弟にあたる3歳未満児の陽性が医療機関で確認され、3歳未満児で当該園児と接触した可能性の高い園児16人、職員6人にPCR検査を実施しました。検査の結果、2月26日に3歳以上児2人、27日に3歳未満児1人の陽性が新たに確認され、感染者数が累計5人となったことから集団感染となりました。

検査結果を受け、最終開園日である2月25日の翌日から起算してオミクロン株の潜伏期間とされている5日間経過後の3月2日から開園しています。

▼町内の社会福祉施設で発生した新型コロナウイルス集団感染の状況について

1月17日に職員1人の感染が確認された以降、28日に集団感染と認定され、北海道により支援対策連絡本部が設置されました。

保健所の指導を受けながら対策を講じたが、職員23人、利用者29人の累計52人を超える感染者が確認されています。

ます。3月6日時点での回復者数は、職員23人、利用者24人の計47人で園内全ての職員及び利用者が回復され集団感染は収束しています。入院者数は3人で、新型コロナウイルス感染後及び回復後の予後の体調変化で亡くなられた方もいます。社会福祉施設と協力をしながら感染予防を支援します。

▼新型コロナウイルスの追加接種及び5歳から11歳の初回接種について

追加接種（3回目）は、18歳以上の初回接種を完了した方が対象となり、2月上旬から医療従事者、町内の介護福祉施設入居者、通所介護利用者及び施設従事者に接種し、2月24日から高齢者の集団接種を開始しています。3月3日時点で、対象者数3400人に対し、接種券発行済み者数3352人、予約者数2731人（予約率81.4%）、医療従事者、介護施設従事者、町内施設入所者等接種済者数299人、町内集団接種会場での接種済者数784人（接種率31.9%）。高齢者の接種がおおむね終了した時点で18歳から64歳の方の接種へ移行し、集団接種は4月下旬までに終了する予定です。個別接種は5月中旬からあつまクリニックで開始できるよう体制を整備しています。

5歳から11歳の初回（1・2回目）接種は、接種を希望する方が速やかに接種できるよう、4月中旬に1回目、5月上旬に2回目の接種を集団接種で実施する予定です。5歳から11歳の個別接種は、ワクチンの供給状況をみながら、6月以降、あつまクリニック及び苫小牧市内の医療機関でも接種できる体制を整備する予定です。